

1学期の通知表数値の見方・考え方

1学期が終了しました。中1生は中学生になって初めての通知表をもらいましたね。特に教科の数値(1~5)を見るときは生徒にとっても保護者の方にとっても緊張の一瞬だと思います。また、受験生にとって通知表数値は志望校を決めるうえできわめて大切な数値になります。特に公立高校校否判定基準の半分は言うまでもなく「内申点」が占めているからです。しかしながら内申点を決定するのは1月中旬、しかも1学期よりも2学期重視が現実です。したがって、1学期数値は関係ないのではなく、2学期通知表を予想する上での目安と考えるのが正しい見方と言えます。また5教科に加えて、実技4科の数値もしっかり上げておく必要があります。過去5年間のデータより「中3で副教科オール4以上の成績を取った生徒の91%が北摂三田高・祥雲館に合格している」という事実があるからです。
〔野垣勝彦〕

7月・8月のおもなスケジュール		
7/23	火	1学期授業終了
24	水	夏期講習スタート
27・28		【授業なし・自習室開室】
8/3・4		【授業なし・自習室開室】
10	土	夏期学習イベント(小4~中2) 中3絶対合格36合格①
11	日	中3絶対合格36合格②
12	月	中3絶対合格36合格③
13~18		【夏期休暇】
24・25		【授業なし・自習室開室】
28	水	【授業なし・自習室開室】
29	木	特進館アカデミー①
30	金	特進館アカデミー②
31	土	夏期公開テスト(小4~中2)

※中3生公開テストは、9/1に会場受験。

リスク管理の大切さ

ここ数年、危機管理の大切さが社会で叫ばれるようになりました。大学にも危機管理を専門に学ぶ学部が創設され、危機管理に対する意識は高まっています。

しかし、人々の意識の中にまだまだ足りないものがあります。それはリスク管理に対する意識です。リスク管理とは、危機が発生するリスクを軽減するという考え方です。

リスク管理の難しいところは、「いま目の前で起こっていないこと」を想像しなければならないということです。人間は今日の前にある危機でなければ、なかなか認識できません。しかし、そのように認識される危機とは、すでに何らかの被害を出しています。未然に防ぐ「リスク管理」が大切です。〔金子祐太〕



恒例の期末攻略深夜特訓。今回の参加者84名。深夜3時まで。無事に終了いたしました!!

6月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 和泉 綾花 85.8 時間
- ★高校生の部
高3 谷川 彰希 111.3 時間

夏休みの宿題

夏休みの宿題にすでに取り掛かっている人がいます。私自身、小学生の時などは夏休みが始まる前の方が宿題へのやる気があり、夏休みの中頃になると宿題の意欲が薄れ、ギリギリになって終わらせる…ということもありました。

そんなことにならないためにも、早いうちから取り組み宿題を終わらせましょう。〔後藤綾祐美〕

8月分 7月29日(月)
学費の振替

今月の振替分は8月分学費として、夏期講習費のご請求となります。受講曜日が各クラスで異なりますので、同封しております日程表にてご確認ください。

自らの命を自らで守る行動に!

「直ちに自らの命を自らで守る行動に出てください」。たいへん重々しい言葉ですが、近年の豪雨報道などで、このような言い回しを、時折耳にするようになりました。あの甚大な被害をもたらした「西日本豪雨」から丸1年が過ぎましたが、私たちは大雨の恐さをどれくらい認識できているのでしょうか?

大雨で、車が洪水で立ち往生しているシーンをニュースでよく見かけますよね。では、車は地面から何センチくらいまでの水深に耐えることができるのか?…ちょっと調べてみました。洪水・津波などで浸水した際の、水面から地面までの深さのことを「浸水深」といい、浸水深が大きくなると、車の走行に支障を来し、避難行動が困難になるそうです。

- 10cm まで…走行に関し、問題はない。
- 10cm 以上…ブレーキ性能が低下する。
- 30cm 以上…エンジンが停止する。
- 50cm 以上…パワーウィンドウ・スライドドアも作動せず、車が浮いて流される。〔日本自動車連盟「JAF」HPのデータより引用〕

つまり、わずか10cmの水たまりでも危険であるということです。「備えあれば患いなし」。何事も命あつての物種です。日頃から、HPなどで「ハザードマップ」を確認、危険箇所を確認しておきましょう。〔北村昌弘〕



代表北村のお願い
特進館学院HP全面リニューアル完了!
パソコンはもちろん、スマホ・タブレットにも自動対応します。
tokushinkan.co.jp
ぜひご活用ください。

編集後記

近畿地方では例年になく遅い梅雨入り、九州では豪雨、関東・東北では日照不足と気候に関するニュースをよく耳にします。このあたりでも、7月にしては涼しいなあと感じる朝晩が多く、身体的にはありがたいのですが、「冷夏」という言葉を聞くと少々心配になります。関東地方ほどではありませんが、我が家のまわりでも野菜が大きにならない…という声があがっています。暑さは嫌いですが、やはり夏らしい最低限の日照と気温は欲しい!と勝手なことを考えながら、畑の野菜たちを眺めている今日このごろです。